

えのもとだより



院長 榎本 泰三

新年あけましておめでとうございます。

地域の皆様には健やかな新春をお迎えの事とお慶び申し上げます。

年に4回発行しております『えのもとだより』は、今年で8年目に入りました。当院を利用していただいている患者さまに、少しでも役立つ情報発信ができればと思いコツコツ継続しております。現在まで継続できているのも御愛読していただいております患者さま、そして当院のスタッフの努力のおかげと深く感謝しております。

今年の4月には消費税が5%から8%に引き上げられます。これにより医療界にも大きな影響が出るのが予想されます。医療機関が購入する高額な医療機器や薬剤・注射、そして包帯や絆創膏にいたるまですべて消費税がかかりますが、日本での保険診療の対象となる医療行為は消費税非課税になっています。しかし、病院側は患者さまから消費税を頂かないということが非常に大きな負担となり、これは当院のような診療所でも同様です。すなわち消費税分は医療機関が負担していることになります。増税となると経営破綻する医療機関が続出し、医療崩壊がさらに進むことが予想されます。しかし医療費を課税対象に含めてしまえば、高齢者や低所得者に負担が大きくなってきます。このような医療情勢の中でも、われわれは患者さまの健康を維持する義務があります。いかなる状況であっても、いろいろな病気から患者さまを守らなければなりません。

昨年末に起きた九州の整形外科医院の火災や有名ホテルの食品偽装問題は記憶に新しいですが、当院においても徹底して安全確認を行い、安全であるがゆえに安心感を持ち、そしてそこに信頼が生まれることを今一度再確認し、地域の患者さまの健康維持のためにより一層努力していく所存でございます。年頭にあたり本年も皆様のご健康とご多幸をお祈りいたします。

名誉院長 榎本泰久

明けましておめでとう御座います。

7代目泰三院長に継承して8年目を迎えることとなりました。その間、職員一同、毎日切磋琢磨して一生懸命頑張ってまいりましたが、皆様にはまだまだ十分満足して頂いているとは思っておりません。今後高齢者が増加するとともに、病院中心の医療から、地域中心の医療へと、地域包括ケアという大きな転換が始まろうとしております。特に有床診療所は急病時の対応に加え、病院との連携や、医療福祉の連携、在宅医療支援などの拠点となりつつあり、地域包括ケアシステムの成否を握っていると思われれます。

本年も皆様のご指導ご鞭撻により、より良い医療を目指して頑張ってまいりますので、よろしくお願いいたします。

院内勉強会(あすなる会)



1月	【認知症患者の服薬指導DVD】	【かかりつけ医に求められる糖尿病治療】
2月	【地域医療連携とネットワーク～当院に求められる連携とは!?!～】 【もしや?あなたも糖尿病???	
3月	【電気の見える化から理解る化へ】	【高血圧 クイズ大会】
4月	【当院における電気治療について】	【ピロリ菌と癌】
5月	【更年期障害と向き合う為に】	【脂質異常に2つの力】
6月	【風疹】	【機能性ディスペプシア】
7月	【衛生管理委員会】	【骨粗鬆症～最後まで健やかな人生を目指して～】
8月	【終末期医療・緩和ケア】	【脳梗塞の治療の話題】
9月	【有床診療所について】	【過活動性膀胱】
10月	【接遇 etc...】	【前立腺肥大症】
11月	【人気の待合室】	【心房細動の病態と治療】
12月	【食後高血糖について】	